第４学年　道　徳　科　学　習　指　導　案

１　主　　　題　友達と助け合って（B　友情、信頼）

２　教　材　名　「仲間だから」（「小学道徳４」教育出版）

３　本時の指導

（１）ねらい

たくやさんの気持ちとゆいの思いについて話し合うことを通して、本当の友達に対する考えを深め、友達と理解し合い助け合おうとする心情を育てる。

（２）準備・資料　教師…場面絵、短冊カード、電子黒板、ワークシート

児童…教科書

（３）指導過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | ・留意点　☆教師の支援　□評価の視点と方法 |
| つ  かむ  ５分 | １　友達とはどんな人かを考える。  　　・　一緒に遊んでくれる人  　　・　困ったときに、助けてくれる人  　　・　一緒にいて楽しい人 | ・　日常生活を振り返り、価値への方向づけをする。  ・　自分がよい気持ちになる人が友達であると思っている人が多いことに気付かせる。 |
| 深める  35分 | ２　教材「仲間だから」の範読を聞く。  ３　牛乳パックを片づけているときのことみさんたち、たくやさん、ゆいさんの気持ちを考える。  　ことみさんたち  ・　面倒なことはたくやさんにやらせよう。  　たくやさん  　・　嫌だけど、仲間外れにされたくないからやる。  　ゆいさん  　・　これっていじめかな。たくやさんが心配。  ４　「心配なの、どうなの。」と言っている場面のゆいの気持ちを考える。  ・　このままじゃいけない。  　・　なんとかしたい。  ５　なぜ、たくやの目に涙が浮かんでいたのかを考える。  （１）　ワークシートに記入する。  （２）　全体の場で発表する。  ・　心配してくれてうれしかったから。  　　　・　本当にほうっておいてほしかったから。  ・　今までがまんしていた気持ちが、おさえられなくなったから。  ・　どうしたらいいのかわからなくなったから。  （３）　友達の意見を聞いて考えたことや新しく気付いたことについて、話し合う。  ・　○○さんの意見を聞いて、嫌なことをやってまで仲間に入るのは、本当の友達じゃないと思った。  ・　△△さんの意見を聞いて、本当に自分のことを心配してくれる人が友達だと思う。  ・　本当の友達なら、相手のことを考えて行動する。 | ・登場人物、状況を押さえる。  ・　場面絵を貼り、児童が３人の気持ちについて考えやすいようにする。  ・　いじめる立場、いじめられている立場、何とかしようとしている立場のそれぞれの気持ちをおさえる。  ・　ゆいはなんとかいじめをやめさせたいと思って行動していることをおさえる。  ・　「ああでもしないと仲間に入れないから」というたくやの言葉に触れ、たくやは自分から進んでことみさんたちの言いなりになっていることをおさえる。  走り出そうとしているたくやさんの目に涙が浮かんでいたのは、なぜでしょう。  ・　机間指導をしながら、一人一人の意見を把握する。  ☆　なかなか意見が書けない児童には、そのときのたくやの気持ちを考えさせる。  ・　本心を話せず、無理をしているたくやの思いを理解させる。  ・　たくやの気持ちをことみたちが知っているのかを問い、いじめる側は何気ないつもりでやっていても、いじめられる側は嫌な気持ちになっていることをおさえる。  ・　たくやにとってことみたちやゆいは友達なのかを問い、本当の友達について考えさせる。  ・　友達とは自分が何かを一方的に求める関係ではなく、お互いがお互いを理解し合い、信じあう関係であるということに気付かせる。  ・　友達の意見を自分の意見と比べながら聞くようにさせる。  　いじめに対する他者の考え方に触れ、いじめをなくすことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができる。（ワークシート・発言） |
| 振り返る  ５分 | ６　学習を振り返る。 | ・　今日の学習で考えたことや気付いたことをワークシートにまとめさせる。  　本当の友達になるために大切なことを理解し、友達と信頼し、助け合っていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができる。（ノート・発言） |